

2016年度 事業報告書

自 2016年4月1日

至 2017年3月31日



特例特定非営利活動法人 開発教育協会 (DEAR)

もくじ

2016年度のトピックス	2
--------------	---

事業の概要

1. はじめに～2016年度をふりかえって	3
2. 各種事業報告	
Ⅰ. ネットワーク事業	7
Ⅱ. 実践・研究事業	7
Ⅲ. 情報・出版事業	8
Ⅳ. 研修・講座事業	9
Ⅴ. 政策提言事業	10
Ⅵ. その他の事業	10
3. 組織運営に関する報告	
1. 会報「DEAR ニュース」の編集・発行	12
2. 認定NPO法人化	12
3. サポーターの募集	12
4. 組織基盤強化	12

処務の概要

1. 会員に関する事項	13
2. 役員に関する事項	13
3. 会員総会に関する事項	14
4. 理事会に関する事項	14
5. 評議員会に関する事項	14
6. 2016年度事業評価・2017年度計画会議	14
7. 各種委員会に関する事項	15
8. プロジェクト・チームに関する事項	15
9. 職員に関する事項	16
10. インターン・ボランティアに関する事項	16
11. 会員団体に関する事項	16

資料編

資料1. 出版・編集・取材協力など	17
資料2. 名義後援・協力の実績一覧	18
資料3. 他団体への賛同の実績一覧	18
資料4. 講師派遣の実績一覧	19

2016年度のトピックス

- 第 34 回全研は JICA 地球ひろばで開催！シンポジウムでは「公正で持続可能な経済」をテーマにし、計 **291 名** が参加。

- **認定 NPO** を目指し、**133 名もの方** から **ご寄付** をいただきました。

本認定の要件に該当する寄付は
目標 2 年間で 200 件に対し **234 件**！

- 2020 年から施行される **新学習指導要領** の **中央教育審議会答申** に「**SDGs**」を明記！

- 教材『写真で学ぼう！地球の食卓～学習プラン 10』が消費者教育教材資料表彰で **優秀賞** として表彰！写真を撮られた **ピーター・メンツェル** さんと **フェイス・ダルージオ** さんも来日！ワークショップを開催しました。

- **売上 No.1 教材** は、『ワークショップ版・世界がもし 100 人の村だったら』。**815 冊** 販売！

- 新教材『**豊かさと開発**』を発行！好評をいただいています。

- 4 つのパートナー団体と持続可能な地域づくりをすすめる学びについてを考える「**学びあいフォーラム**」を実施！

- 第 2 回目の **ソーシャル・アクション・クラス** を実施し、新教材『**ソーシャル・アクション・ハンドブック**』を発行しました！



全研では浜矩子さんに基調講演をしていただきました



ピーター&フェイスさんとワークショップを実施



Social Action
Handbook



1. はじめに ～ 2016年度をふりかえって

国内外の大きな動きの中で

2016 年は世界で決めた共通の目標である「持続可能な開発目標 (SDGs)」のキックオフイヤーでした。私たちは、SDGs の 17 の目標に注目しがちですが、2015 年 9 月に、150 を超える加盟国首脳が参加した「国連持続可能な開発サミット」の成果文書「我々の世界を変革する: 持続可能な開発のための 2030 アジェンダ (「2030 アジェンダ」) の前文や宣言、実施手段について考えることが重要です。

「世界を変革する」に込められた意味、そして、目標だけでなく、目標達成の手段やプロセスにおける公正性や持続可能性を改めて意識する必要があると思います。

一方で、世界ではポピュリズムや排外主義が台頭し、「2030 アジェンダ」がめざす連帯や公正ではなく、差別や分断が進んでいます。日本も例外ではなく、少数者に対する差別やヘイトスピーチ等の問題は深刻になっています。

このような状況の中で、開発教育はどのような役割を担えるのでしょうか。

SDGs の目標 4 は「教育」です。そこでは「質の高い教育」をすべての人が受けられることを目指しています。

しかしながら、2020 年から施行される新しい学習指導要領の学習内容は大幅に増やされ、子どもたちや教師の負担も増えることが予想されます。教育は誰のため、何のためなのか、改めて考える必要があるでしょう。「質の高さ」を考えるのであれば、多様な背景を持つ子どもたち一人一人が、安心して主体的に学べる環境をつくるのが、より重視される必要があるのではないのでしょうか。

持続可能な社会をつくる取り組みは、それぞれの地域ですすめていくことが大切です。地域における持続可能性や地域の人々が主体となってより公正な社会をつくる取り組みが増えることで、「変革」が起きるのだと思います。

今年度も DEAR は、全国の会員や開発教育実践者、関係団体と共に、学びをとおして、より公正で持続可能な社会をつくることをすすめてまいりました。以下にその報告をいたします。

中期計画 4 年目

2013 年度から始まった中期計画 (5 年) は、4 年目を終えました。

<中期重点方針>

1. 現在の開発のあり方やグローバル化がもたらす不公正を構造的に捉え広く発信する。
2. 「世界は変えられる」という思いに基づき行動する人を増やす。

重点事業1では、グローバルな課題の背景にある構造的な問題を分かりやすく提示し考えるきっかけをつくる「ハンドブック」の作成を進めました。

重点事業 2 では、公正な社会づくりに一人ひとりが参加するきっかけを学びの場から生み出す「ソーシャル・アクション・クラス」を開催するとともに、そこで学んだ視点や方法を取り入れた『ソーシャル・アクション・ハンドブック』を出版し、アクションの提案をすることができました。

重点事業 3 では、持続可能な社会づくりのための学びのあり方、課題解決やコーディネーションの方法について対話し学ぶ場を広げるための、「学びあいフォーラム」を開催し、全国各地の4つのパートナー団体と、コーディネーターチームが主体となって、研修プログラムを行いました。

重点事業 4 では、2020 年度から施行される新学習指導要領に SDGs を明記することを提案し、ネットワークを活かして様々な働きかけをして、中央教育審議会の答申に「SDGs」を入れることができました。

参加を重視した事業運営

また、年度当初に計画した 5 つの領域「Ⅰ. ネットワーク事業」「Ⅱ. 実践・研究事業」「Ⅲ. 情報・出版事業」「Ⅳ. 研修・講座事業」「Ⅴ. 政策提言事業」においては、概ね事業計画通りに各種事業を実施することができました。

参加を重視するという点では、昨年度まとめ、ウェブにもアップしている『「みんなの参加」のための DEAR の取組』にもあるように、あらゆる人々が安心して参加するための学びの場づくりをすすめています。

具体的には全国研究集会や教材体験フェスタにおいて難聴者のための要約筆記や IP トークによる

ノートテイク、ガイドヘルプ、託児を導入しています。また、視覚障害を持つ会員には、会報や機関誌のテキストを毎回データで送付しています。このような取り組みを広く伝え、他団体へも伝えていきたいと思いません。

まず、4つの各中期重点事業について、ご報告いたします。尚、各事業にかかわったメンバーについては、p.15～16をご覧ください。

重点事業 1. 「グローバル化と開発問題」研究会の実施

グローバルな諸課題を開発教育的な視点で捉え、その視点を提示することを目的に研究会「グローバル化と開発問題」研究会を立ちあげ、成果物である「ハンドブック」(仮称)の発行に向け、研究会活動を行った。

研究会成果物を外部の出版社から千部発行することとし、その執筆・編集作業を行った。また、適宜編集会議を実施した。当初は年度内発行を準備していたが、編集上の都合により次年度前半の発行予定となっている。

重点事業 2. 公正な社会づくりへ参加するためのアクションの支援

公正な社会づくりに向けた多様なアクションの可能性を示し、アクションの意識喚起につながる活動を実施するために、身近なアクションの事例や方法を収集し、『アクション・ハンドブック(仮称)』の作成を計画。検討会議を6回実施した。

また、9～12月にかけて、ハンドブックに掲載予定の内容を元に第2回目となる「ソーシャル・アクション・クラス(SAC)」という連続講座を開催。3月には『ソーシャル・アクション・ハンドブックテーマと出会い・仲間をつくり・アクションの方法を見つける 39 のアイデア』を発行した。

1) 検討会議の開催(全6回)

●第13回検討会議

日時:2016年4月18日(月)19:00～21:00

内容:SAC2015 ふりかえり、アクションを生み出す要素について検討

●第14回検討会議

日時:2016年6月16日(月)19:00～21:00

内容:全研企画、SAC2015の軌跡、SAC2016企画、

ハンドブックの内容検討

●第15回検討会議

日時:2016年7月21日(木)19:30～21:30

内容:全研企画、SAC2015の軌跡、SAC2016企画、ハンドブックの内容検討

●第16回検討会議

日時:2016年9月13日(火)19:30～21:30

内容:ハンドブック企画、SAC、全研報告

●第17回検討会議

日時:2016年11月24日(木)19:30～21:30

内容:SAC最終回の企画、ハンドブックの編集

●第18回検討会議

日時:2017年3月30日(木)19:00～21:00

内容:2016年度のふりかえり、中期計画ふりかえり、2017年度計画

2) 全研・分科会の開催

●全研・第2分科会「ソーシャルアクションと開発教育—アクションしながら学びを創る」実施

日時:2016年8月6日(日)

内容:SAC 実施内容の紹介とプログラム体験、体験談、アクションを生み出す要素についてパネルトーク

3) 連続講座「ソーシャル・アクション・クラス～自分をソーシャルにする！開発教育ワークショップ～」(全6回)の開催

・第1回:9月16日(金)19:00～21:00

仲間を知ろう&体験！開発教育ワークショップ

・第2回:9月30日(金)19:00～21:00

キックオフ！仲間を知ろう

・第3回:10月13日(木)19:00～21:00

ソーシャルアクションとは？どんなソーシャルアクションに興味ある？

・第4回:10月28日(金)19:00～21:00

グループ活動、アクションに向けて

・第5回:11月11日(金)19:00～21:00

グループ活動、進捗共有

・11月12日(土)～12月2日(金)

アクション期間/グループごとに日時、場所も自由に活動

・第6回:12月3日(土)13:00～16:00

アクション発表/ふりかえり

・参加者:15名

3) 『ソーシャル・アクション・ハンドブック テーマと出会い・仲間をつくり・アクションの方法を見つける 39 のアイデア』の作成と発行

<概要>

発行:開発教育協会

発行日:2017年3月9日

版型・頁数:AB判 96頁

対象:中学生以上

発行部数:1,500部

価格:1,800円(会員1,500円)

助成:公益信託オラクル市民の会ボランティア基金



重点事業3.

国内外の開発問題を多様な人たちと話し合う 場づくりの支援

活動分野は異なっても、「『持続可能な社会・地域づくり』のための教育・学習」という目的を共有する団体が集まって、それぞれの地域がもっと良くなっていくための学習活動の方向性を、1年を通して一緒に見つけるため、「持続可能な地域・社会づくりのための学びあいフォーラム(「学びあいフォーラム」)」を実施した。

本フォーラムには各地域から「パートナー団体」として4団体が参加し、その活動を「コーディネーターチーム」が、各パートナー団体の研修プログラム作成や研修の実施面などでサポートした。

本フォーラムは全4フェーズを実施し、フェーズ3では各地域の教育・研修に携わる人々を対象としたプログラムをパートナー団体が作成・実践し、その後のフェーズ4において、プログラムの成果を持ち寄り、どのような学びや変化があったのか、また実践にあたっての問題や課題をふりかえり、全体で共有した。

また、コーディネーターの有効なサポートのあり方や、学習者の変化を把握し効果を検討するためのコーディネーター会議を全8回開催した。

なお、本事業は地球環境基金からの助成金により実施した。

1) 学びあいフォーラムの実施(全4回)

●「学びあいフォーラム」フェーズ1

日時:5月7日～8日

内容:ESDを既存の教育・研修に取り入れるための研修会を実施

●「学びあいフォーラム」フェーズ2

日時:6月18日

内容:ESDを既存の教育・研修に取り入れるための研修会を実施

●「学びあいフォーラム」フェーズ3

各地域でのESD学習プログラムを計画・実施

●「学びあいフォーラム」フェーズ4

日時:2月18日

内容:実践の成果と課題、それらを生んだ要因を分析・確認し可視化した。

2) コーディネーター会議の開催(全8回)

●第1回会議

日時:2016年4月17日(日)13:00～17:00

内容:各コーディネーターから、パートナー団体に関する情報共有をおこなった。また、フェーズ1のプログラム、教材や配布物、役割分担などを確認した。

●第2回会議

日時:2016年5月8日(日)16:00～17:00

内容:フェーズ1のふりかえりをおこない、達成できたこと・できなかったこと、コーディネーターの課題、今後のフォローの方法や記録の方法について話し合った。

●第3回会議

日時:2016年5月24日(火)19:00～21:30

内容:ふりかえりを共有し、次回の実施事項を抽出したうえで、コーディネーターの役割について確認した。また、フェーズ2のプログラムについて検討した。

●第4回会議

日時:2016年6月6日(月)19:00～21:30

内容:ふりかえりの視点および目的について確認し、フェーズ2の目的や、コーディネーターの役割について検討した。

●第5回会議

日時:2016年6月18日(土)18:15～19:15

内容:次回のコーディネーター合宿について検討をし、フェーズ2のふりかえりをおこなった。

●第6回会議

日時:2016年7月18日(月)9:00～12:00、
13:30～16:00

内容:各団体における変化、気付き、学びの共有をした。また、団体指標やフォローアップ、成果物の把握や評価の指標について話し合った。

●第7回会議

日時:2016年10月23日(日)10:00~12:30、
13:40~16:00

内容:近況報告およびフェーズ4について検討した。
また、2017年度末までに目指される状況、変化の連鎖について話し合った。

●第8回会議

日時:2017年1月21日(土)10:00~13:00、
14:00~17:00

内容:次年度の内容と参加団体、フォーラムの目的について確認した。また、ハンドブックについて検討し、フェーズ4の進め方について確認した。



「学び合いフォーラム」フェーズ4

重点事業4.

教育政策に関する調査・ネットワークづくり

持続可能な開発目標(SDGs)の中の目標4のターゲット7(SDGs4.7)は、ESDやグローバルシティズンシップ教育について述べられていることから、SDGs4.7の国内実施のための政策提言を他の市民団体やネットワークと連携・協力しながら実施していくことをめざした。

2020年から施行される新学習指導要領の改訂の時期であったため、SDGs4.7の推進に向けた政策提言を行った。具体的には、学習指導要領改訂プロセスをモニターし、有識者に話を聞いたり、SDGs市民社会ネットワークの教育世話人として、ネットワークを通して、提案書を提出したり、文部科学省の国際統括官付け担当者と面会し、提言書を渡すなどを行った。その結果、中央教育審議会の答申にSDGsが明記された。

また、新学習指導要領へのパブリックコメントを広く呼びかけ、ESDやSDGsの明記や、多様な背景を持つ子どもたちへの配慮などを提案した。

1)政策提言会議

●第1回

日時:6月10日(金)19:00~21:00

会場:上智大学2号館14階1415C

内容:政策提言チームのゴールの共有、今年度の実施事項の確認、情報共有、役割分担

●第2回

日時:7月11日(月)19:00~21:00

会場:上智大学2号館14階1415C

内容:有識者による学習指導要領の作成プロセスについてのレクチャー、提言方法・内容について、今後の進め方

●第3回

日時:2017年3月1日(水)17:00~19:00

会場:上智大学2号館14階1415C

内容:政策提言チームのふりかえり、パブリックコメントについて、今後の実施体制について

2)「ESD国内実施計画」への働きかけ

政府の「ESD国内実施計画」の協議を行う「持続可能な開発のための教育円卓会議」が1回開催され、上條代表理事が委員として出席した。

●第1回ESD円卓会議

2017年1月17日 於:文部科学省

3)「SDGs市民社会ネットワーク」の教育世話人として政策提言活動に協力

12月22日(木)、「持続可能な開発目標(SDGs)を達成するための具体的施策」が閣議決定された。DEARは、SDGs市民社会ネットワークの教育分野世話人として提言し、「次期学習指導要領にSDGsを明記する」ことが、具体的施策に反映された。



JAPAN CIVIL SOCIETY
NETWORK ON
SDGs
SDGs 市民社会ネットワーク

2. 各種事業報告

I. ネットワーク事業

ネットワーク事業は、国内外の開発教育及びESD関係者と実践経験を共有し、開発教育の普及、深化をはかることを目的としている。今年度は、重点事業3「学びあいフォーラム」や「開発教育フォーラム」などを実施し、担い手との連携・強化を図った。

1)「担い手」連携強化事業

地域の開発教育の担い手とのネットワーク維持・強化につとめた。

具体的には学びあいフォーラムを通して、持続可能な地域づくりをすすめる学びのあり方を協議した(p.4参照)。

また、2月19日には、「開発教育フォーラム」を開催し、NGOや開発教育を推進する市民団体とともに、地域におけるSDGsをすすめる学びについて、協議した。本事業は、JICAの「NGO等提案型プログラム」の受託事業として行われた。

<概要>

「開発教育フォーラム2017～国際協力NGOと考えるこれからの開発教育」

日程:2017年2月19日(日)10:00～16:00

会場:JICA東京国際センター

共催:JICA

参加者数(関係者含む):105名

プログラム:

1)ワークショップ体験

2)全体会

・課題提起・パネルトーク・グループディスカッション

・全体共有

内容:午前中は、SDGsが提案された背景をワークショップで経験して考えた。午後は、全国で持続可能な社会をつくるために活動している団体からの報告を聞いて、参加者自身が持続可能な社会のためになにができるかを考える機会となった。

2)海外ネットワーク事業

①ASPBAEへの参加

DEARが団体会員になっているアジア南太平洋基礎・成人教育協会(ASPBAE/アスペ)の第7回総会が11月20日、21日に、タイ、バンコクで開催され、日本からは、荒井容子氏(法政大学)、新理事(2017-2020)の山本英里氏(SVA)、上條代表理事

の3名が参加した。アジア南太平洋地域のASPBAE会員団体から約120名が集まり、次期4年間の戦略会議が行われた。今期は理事長交代があり、新理事長にインドネシアPEKKAという女性支援団体のNani Zulminarni氏が就任した。

II. 実践・研究事業

開発教育の研究実践活動の質的な深化や向上に向けて、関連する教育的課題や今日的課題などに関する調査研究活動を行った。機関誌は「女性」をテーマに特集を組んだ。

1)「開発教育研究会」

①「グローバル化と開発問題」部会

重点事業1(p.2)を参照

②「開発教育アーカイブ」部会

開発教育の成り立ちや背景を研究するとともに、重要な資料などを整理、共有する研究会を開催した。

<開催実績>

第9回公開研究会

日程:2月20日(月)午後3時～6時

会場:上智大学総合人間科学部教育学科会議室

テーマ:「かながわにおける開発教育をふりかえる」

講師:福澤郁文(元シャプラニール=市民による海外協力の会代表)

荻村哲朗(元財団法人神奈川県国際交流協会)

参加者:9名

備考:講師の荻村氏からは、今日一般的に使われるようになった「多文化共生」という言葉について、1993年に横浜で開催された「開発教育国際フォーラム:“地域”は“世界”を変えていく」のプログラムの中で、「人権」と「多文化・多価値共生」をテーマとする「体験トリップ&分科会」が企画され、これを紹介した新聞の告知記事の中で使われたのが最初ではないかとの経緯が紹介された。

2)機関誌『開発教育』の編集発行

機関誌『開発教育』第63号を発行した。特集は「女性をとりまく問題と開発教育」とし、国内の女性をとりまく問題に注目し、日本社会や学校教育の中にある女性差別やジェンダーバイアスなどの問題を取り上げた。



今後の開発教育で、女性やジェンダーについて扱う際の題提起とした。

<概要>

タイトル:機関誌『開発教育 63号』
特集:「女性をとりまく問題と開発教育」
発行:2016年12月1日
発行部数:900部
価格:2,000円

3) 第34回「開発教育全国研究集会」の開催

ワークショップ(6コマ)、シンポジウム(テーマ:公正で持続可能な経済)、自主ラウンドテーブル(16コマ)、実践事例報告(4コマ)、分科会(5コマ)を通して、開発教育・ESD・国際理解教育等に関わる実践者の経験交流・意見交換を中心に据えながら、議論を深めた。シンポジウムでは、グローバル化の影響で経済格差がますます広がり、経済活動が複雑になっているからこそ、公正な経済の実現やそのための教育について考えた。

また、多様な参加者が参加しやすい場づくりのために、要約筆記、パソコンによるノートテイク、託児などの対応を行った。

<概要>

日程:8月6日(土)~7日(日)
会場:JICA 地球ひろば
参加者数:291名(関係者を含む)
後援:文部科学省、外務省、環境省、NPO 法人関西 NGO 協議会、NPO 法人国際協力 NGO センター、独立行政法人国際協力機構、一般財団法人自治体国際化協会、公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター

Ⅲ. 情報・出版事業

新規教材等の作成・増刷、ウェブサイトや SNS を活用した情報発信を行った。また、出版物販売に関しては、送料無料キャンペーンを行った他、昨年度から引き続き「ヒルマ教材総合カタログ」に一部の教材を掲載することができ、反応があった。

1) 新規教材図書の企画編集と制作発行

開発教育に関連する次のような新規の教材や図書の企画編集や制作発行や増刷をおこなった。またそのために、引き続きその財源や出版社等との実施体制の確保に努めた。

①『豊かさと開発 Development for the Future』

豊かさと開発のあり方を考えることをめざした新教材『豊かさと開発』を発行した。本教材活用のためのワークショップを東京(全研)、仙台、大阪で3回実施した。なお、本教材は庭野平和財団の助成金で作成した。

発行:開発教育協会
発行日:2016年8月1日
判型・頁数:A4判・55頁
ふろく CD 付
発行部数:1,000部
価格:2,000円
助成:庭野平和財団



②『ソーシャル・アクション・ハンドブック』

重点事業2(p.3)を参照

③その他図書教材の編集企画・編集協力

既存の教材で在庫が少ない以下の教材の改訂・増刷発行を行った。

<増刷発行>

『写真で学ぼう!「地球の食卓」学習プラン10』
2010年に発行された本教材の写真を、増刷した。
なお、今回の増刷より、写真の著作権の契約を MENZALPHOTO JAPAN PAVANE と行うこととなった。

2) 出版物販売

当会発行の教材・図書資料を販売した他、関係団体の発行図書などを受託販売し、自己財源の強化を図った。また、昨年度に引き続き「ヒルマ教材総合カタログ」に当会発行の教材・図書資料の一部を掲載し、販売することができた。

<書籍売り上げベスト5>

第1位『ワークショップ版・世界がもし100人の村だったら』	815冊
第2位『新・貿易ゲーム』	527冊
第3位『18歳選挙権と市民教育ハンドブック』	410冊
第4位『写真で学ぼう!地球の食卓学習プラン10』	263冊
第5位『豊かさと開発』	251冊

3) 広報資料作成

①ウェブサイトの運営

開発教育ポータルサイトとしてウェブサイトでの情報発信を行った。

訪問者数・閲覧数ともに毎年増加を続けている。よく読まれているのは「参加型学習」「教材」「イベント」関連のページ。イベント参加申込や会費・寄付などの支払いにはウェブ経由 (paypal 決済) のものが多くを占めてきている。また、昨年来、モバイル利用者が全体の4割を占めている。

- ・ 203,094 セッション 前年: 191,347
- ・ 440,655 ページビュー 前年: 449,018
- ・ 2.17 平均ページビュー 前年: 2.35
- ・ 平均サイト滞在時間 01:38 分 前年: 01:49 分
- ・ 新規セッション率 78.29% 前年: 74.26%
- ・ PC ユーザー 57.61% (モバイル 42.39%)

②スタッフ・ブログの運営

講師派遣レポートや事務局の日常業務等を不定期に掲載しています。閲覧数はやや減少した。よく読まれているのは、講師派遣レポートである。

- ・ 4,069セッション 前年: 4,391
- ・ 7,102ページビュー 前年: 7,608
- ・ 1.75平均ページビュー 前年: 1.73
- ・ 平均サイト滞在時間1:36分 前年: 1:53分
- ・ 新規セッション率71.00% 前年: 68.87%

③Facebookページの運営

<https://www.facebook.com/ngoDEAR/>

2013年8月に全研広報用に開始し、9月末に公式Facebookページとしてリニューアルした。主催イベントや教材の紹介のほか、開発教育や国際協力に関連するニュースも配信している。社会課題を扱った記事や、教材・リソースに関する記事への反響が大きい。3月末の「いいね！」数: 2,534 (前年比+610)



④メールマガジンの発行

毎月1回のメールマガジンの発行を開始し、主催事業や資料の情報を発信した。3月末現在2,850名 (前年比+90名) が登録している。

⑤ツイッターの運営

<https://twitter.com/ngoDEAR>

2011年11月16日にツイッターを導入 (アカウント名は@ngoDEAR)。イベント情報や教材関連情報を中心にツイートしている。3月のフォロワー数: 739 (前年比+123)



⑥資料請求者への対応

ウェブサイト上から無料で資料請求を実施した。全国から請求があり、48件 (前年比-13件)。うち4名の新入会があった。

IV. 研修・講座事業

講師派遣事業に関しては、消費者教育関係者からの要請が増え、また、ファシリテーター養成や学習プログラム作成など、多様なニーズに対応した。また、「mini 教材体験フェスタ」を開催し、好評を得た。

1) 講師派遣事業

政府機関・自治体・教育委員会・学校・大学・自治体国際化協会・NGOなどからの講師派遣依頼に対して、DEARの役職員等を講師として計67件160回派遣した。述べ参加者は約5,000名。

依頼先は大学や高校、自治体、NGOなどが多く、内容は各種ワークショップの他、アクティブラーニング研修やファシリテーター養成や授業づくりなどの内容が多かった。詳細は資料編を参照。

2) mini 教材体験フェスタ 2017

全研と同様にJICA地球ひろばを会場として、100名を超える参加があった。参加申込も開始早々に多く、締め切り約一か月前に定員に達した。

<概要>

日程: 2017年3月25日 (土)

会場: JICA地球ひろば

後援: 文部科学省、JICA地球ひろば

参加者数 (関係者除く): 101名

(内、当日キャンセル: 12名)

新規入会数: 6名

内容: 新教材である「Social Action Handbook」、
「豊かさの開発」等DEARの教材を使い6つのワークショップを実施し、教材や進め方について学び、各現場での実施を促すことをねらいとした。参加者からは、実践的なヒントを得られた、地方でも開催してほしいという声があり、教材販売とも好評だった。

3) 各種講座

①「開発教育入門講座」

開発教育の基礎的理解を目的とした入門講座を毎月1回、計11回 (8月は全研で実施)、延べ191名の参加者を得て開催した。

10回の講座のうち4回は「特別編」として、「コー

ヒーカップの向こう側」(5月)、「水から広がる学び」(7月/横浜YMCAと共催)、「写真で学ぼう!地球の食卓」(10月)、「もっと話そう!エネルギーと原発のこと」(3月)を実施した。

V.政策提言事業

国際協力政策や教育行政に働きかけるとともに、ネットワークに協力した。目標としていた新学習指導要領へのSDGsの明記については、実現することができた。

1)行政に対する政策提言

①国際協力政策・援助政策に対する政策提言

SDGs市民社会ネットワークの教育分野の世話人になることで、SDGsに関する政策提言を行うことができた。

また、NGO-JICA協議会において、「開発教育推進のためのタスク」の事務局を担い、3回の会議を行い、NGOとJICAの開発教育の理解や目的、実態や課題、課題解決の方法を議論した。また、開発教育の現状と課題を知り、問題解決やJICAとの連携の方法を知るために、NGO向けにアンケートを実施し、107団体より回答を得た。

今後、今までの議論を整理して、開発教育推進のためのアクションプランを作成する。

②教育行政・教育政策に関する調査・ネットワークづくり

重点事業4(p.5)参照

2)キャンペーンへの協力

①教育協力NGOネットワーク(JNNE)主催「世界一大きな授業2016」への協力

基礎教育を受けられない子どもたちや非識字の人々が世界中に多くいる現状に目を向け教育の大切さを世界中で同じ時期に考える地球規模のイベント。2016年からは特にSDG4「教育」達成を目的に開催した。

<概要>

日程:2016年4月15日~5月31日

協力内容:教員の手引の作成、助言、広報。実践者のためのプレ・ワークショップの実施。

参加者数:764校・グループの56,234人

VI.その他の事業

1)受託事業

①外務省「NGO相談員プログラム」

外務省より標記プログラムを受託し、関東圏を中心に全国から開発教育や国際協力に関する幅広い相談を受けた。出張サービスは関東圏を中心に10件行った。

②JICA NGO等提案型研修

JICAより標記プログラムを受託し、NGOや開発教育を推進する市民団体の組織強化、ネットワーク強化のための事業を実施することになった。

具体的には、2月19日に「開発教育フォーラム」を開催した。(ネットワーク事業 p.6参照)

③外務省SDGsパンフレット・別表の作成

外務省国際協力局地球規模課題統括課より、標記冊子の作成を受託し、各3,000部を作成した。

<概要>

「SDGsパンフレット」

・A4判 8頁 フルカラー

・日本語版・英語版 各3,000部

・編集・発行:外務省

・発行日:2017年3月31日

「SDGsパンフレット別冊」 A4判30頁(日本語版)

・A4判 40頁(英語版) 各3,000部

・編集・発行:外務省国際協力局

・発行日:2017年3月31日

2)外部団体との共催・協力事業

①2016年度開発教育国際教育セミナー

「私の暮らしが→世界をつなぐ、社会を変える」

<主管:DEAR大阪>

(公財)大阪国際交流センター、(独)国際協力機構関西国際センターが共催する、開発教育に関する基礎的理解を目的とした連続セミナーの企画・開催に協力した。

<開催実績>

日程:下記の通り

会場:大阪国際交流センター(大阪市天王寺区)

共催:(公財)大阪国際交流センター、(独)国際協力機構関西国際センター

協力:DEAR大阪

後援:大阪市教育委員会、大阪府教育委員会、

(特活)関西NGO協議会

●第1回:10月9日(日)13:00~16:30

「いま、もっと知ろうブラジル」

講師:永井しのぶ・森雄二郎(Glocal net Shiga)

参加者数(関係者含む):24名

●第2回:11月20日(日)10:00~16:00

「社会を変えるおカネのはなし もっと身近に、寄付と投資編」

講師:・小吹岳志(オイコクレジット・ジャパン)、正阿彌崇子・上村有里(NPO 法人 とよなか ESD ネットワーク)

参加者数(関係者含む):20名

●第3回:2017年1月29日(日)10:00~16:00

「社会を変えるおカネのはなし エシカルなお買いもの編」

講師:佐藤友紀(DEAR 理事)、ファシリテーターズパレット

参加者数:(関係者含む)29名

②日本YMCA同盟「地球市民育成プロジェクト」

日本YMCA同盟が実施する「地球市民育成プロジェクト」の内容や概要について助言し、カリキュラムの作成、運営にアドバイザーとして協力した。

また、アジアのユースと共に1週間活動する夏期研修についてもその企画・運営に協力した。

<概要>

日時:2016年8月29日(月)~9月4日(日)

会場:日本YMCA同盟国際青少年センター東山荘(静岡県御殿場市)

内容:グローバルイシューの理解、問題の構造理解、多文化共生・人権などをテーマにしたフィールドワーク、アクションプランづくり、グループワーク等

参加者:日本の若者 35名、海外の参加者:15名

③国連WFP教材作成への協力

NPO 法人国連 WFP 協会の作成する飢餓をテーマにした教材についての内容や進め方、編集などに関して協力した。

<概要>

タイトル:『ワークショップ アクティビティ集「食べる」から世界を考えよう』

体裁:A4判 39頁

内容:世界の食事と飢餓の問題、WFP協会が取り組

む学校給食支援の意義、不公平な食の配分などをテーマにした、参加型学習のアクティビティ集。

発行:NPO 法人国連 WFP 協会

協力:DEAR

④あおぞら財団の教材作成への協力

(公財)公害地域再生センター(あおぞら財団)の作成する公害教育の参加型学習教材作成事業に対し、教材内容や進め方に関して協力した。

<概要>

日程:2016年5月12日、8月5日、8月10日、11月11日、11月18日、12月13日、2017年2月3日、3月10日

協力内容:教材作成のための検討会議に参加し、教材内容の検討、実践への助言。

⑤「写真で学ぼう!地球の食卓」ワークショップ&トークイベント

写真集『地球の食卓』の制作者である、ピーター・メンツェルさん、フェイス・ダルージオさんの来日に合わせて、ピーター・メンツェル写真展「しあわせのものさし」実行委員会が主催する「地球の食卓ワークショップ&トークイベント」の企画・運営を行った。

<概要>

日時:2016年9月18日(日)13:30~17:00

主催:ピーター・メンツェル写真展「しあわせのものさし」実行委員会

協賛:NPO 法人アユス仏教国際協力 NGO ネットワーク

内容:

第1部:ワークショップ「写真で学ぼう!地球の食卓」

進行:八木亜紀子(DEAR 職員)

会場:東京農業大学 18号棟 1階 1811教室

第2部:トークイベント「地球の食卓」の向こう側

進行:上條直美(DEAR 代表理事)

ゲスト:ピーター・メンツェルさん、フェイス・ダルージオさん

通訳:藤岡美恵子さん

会場:東京農業大学「食と農」の博物館 1階ホール

参加者:60名

3. 組織運営に関する報告

1) 会報「DEAR ニュース」の編集発行

開発教育の関連情報をはじめ、DEARや各地の「担い手」などの活動状況を紹介することを目的とした会報を5回(4・6・8・10・2月)、各号900部を発行した。前年度末に実施した読者アンケートの意見を反映し、今年度からカラー印刷に切り替えた。



<発行実績>

- 第176号(発行:4月1日)
特集「他者を困らせないため」の金融教育－フェア・ファイナンス・ガイドの活用を軸に」
- 第177号(発行:6月1日)
特集「安保法制と私たち－紛争現場の現実と私たちの暮らしの観点から」
- 第178号(発行:8月1日)
特集「あなたの町を『フェアトレードタウン』に！～日本で3番目のタウン認定を受けた逗子市の取り組みから」
- 第179号(発行:10月1日)
特集「公正で持続可能な経済はホントに可能か！？－第34回開発教育全国研究集会 シンポジウム採録」
- 第180号(発行:2月1日)
特集「イラクのシリア難民を知っていましたか」

2) 認定 NPO 法人化

認定 NPO 法人化に向けて、2014 年 10 月 3 日に仮認定 NPO(2017 年 4 月より特例認定 NPO と改称)の認証を得ることができた。認定 NPO 法人となるためには、2 事業年度の平均で、1 年間 3,000 円以上の寄付を 100 人以上のから支援いただく必要がある。前年度に引き続き 2016 年度も、次項のサポーター制度と合わせて 100 名を超える方からの寄付を集め、本認定 NPO の認証要件を満たせる見通しとなった。

これから本認定の申請を進めるとともに、認定 NPO への寄付による税額控除の制度など、寄付者自身へのメリットについても周知する。

今後も引き続き、継続的なサポーターを集めるとともに、当会主催のイベントなどの時に毎回寄付を呼び掛けるなど工夫をしていく。

3) サポーターの募集

継続的に DEAR をサポートしてくれる人を増やし、組織強化につなげるために、2014 年 12 月よりサポーター制度(年 4,000 円以上の定額寄付制度)を開始した。より多くの方に支援いただくために、昨年度より「DEAR を支える 100 人委員会」を立ち上げ、過去会員や関係者に依頼の手紙などを送付し、広く支援を呼びかけた。100 人委員会の方にはメッセージや顔写真を出して頂くように依頼し、ウェブサイトや会報などで紹介することで、DEAR 応援団としての顔となって頂いた。

その結果、6 名の方が新たに 100 人委員会となって下さり、併せて 53 名の方が名を連ねて下さった。

4) 組織基盤強化

安定的な組織運営の基盤の一つである、財政状況を見直し安定させることを目標に、理事内で組織基盤強化タスクを立ち上げ、協議を行った。2018 年 3 月までに 700 万円の増収を図ることを目標として、事務局内での既存の活動の改善や、新規事業の検討に取り組んだ。

●第 1 回会議

日時:6 月 12 日(日)14:00～17:00

会場:DEAR 資料室

内容:組織基盤強化タスクの目的・役割の確認、スケジュールの確認

●第 2 回会議

日時:7 月 28 日(木)19:00～21:00

会場:DEAR 資料室

内容:課題の整理・タスクの進め方 確認

●第 3 回会議

日時:9 月 16 日(金)19:00～21:00

会場:DEAR 資料室

内容:事務局案について、新規事業について、評議員会について、進め方

●第 4 回会議

日時:2017 年 1 月 19 日(木)19:00～21:00

会場:DEAR 資料室

内容:事務局案実施報告、新業進捗報告、新中期計画策定、タスク提案

処務の概要

1) 会員に関する事項

2017年3月末現在の会員数は、次の通り。ただし、括弧内は昨年末比の数字。

- 正会員 団体 23団体(−2団体)
個人 404名(−1名)
- 賛助会員 団体 17団体(−1団体)
個人 235名(+1名)
(内学生会員:26名/−3名)

<参考> 団体会員 40団体(−3団体)
個人会員 639名(+0名)



2) 役員に関する事項

(註:役員は個人の立場で当会の運営に参加しており、括弧内は本人の勤務先や所属先等を参考までに紹介するものです)

●代表理事

上條直美(上智大学)

●副代表理事

湯本浩之(宇都宮大学)

●常任理事

阿部真理子((認定NPO)IVY)

筒井哲朗(一般社団法人シェア・ザ・プラネット)

●理事

宇井志緒利(立教大学)

榎井 縁

(大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラム)

佐藤友紀(高校教員)

田中治彦(上智大学)

三宅隆史((公社)シャンティ国際ボランティア会)

三輪 敦子(NPO 法人 国連ウィメン日本協会大阪)

向井一朗(団体職員)

本山明(大学講師)

中村絵乃(開発教育協会)

●監事

岩崎裕保(帝塚山学院大学)

山崎唯司(元JICA地球ひろば市民参加協力アドバイザー)

●評議員

阿部秀樹(会社員)

伊藤通子(東京大学)

枝木美香((特活)アークス=仏教国際協力ネットワーク)

大江 浩((公社)日本YMCA同盟)

甲斐田万智子((特活)子ども権利センター/C-rights)

近藤牧子(早稲田大学)

重田康博(宇都宮大学)

白木朋子((特活)ACE)

田中 博(参加型評価ファシリテーター)

椿原 恵

(コミュニティコミュニケーション・サポートセンター(Commu))

永田佳之(聖心女子大学)

檜府暢子(東京大学付属中等教育学校教員)

西平久美子(団体職員)
浜本裕子((学)YMCA学院高等学校)
早川信夫(日本放送協会)
林 大介(模擬選挙推進ネットワーク)
前嶋 葵((特活)コモンビート)
三田 善雄(みた農園)
諸 英樹(ニュー・インターナショナルリスト・ジャパン)

3) 会員総会に関する事項

2016年度定期会員総会

日時:5月28日(土)

会場:富坂キリスト教センター1号館

<第1部> 13:00~15:00

公開ワークショップ 18歳選挙と市民教育

<第2部> 15:30~17:00

2016年度定期会員総会議案

<議案審議>

第1号議案

2015年度事業報告および決算報告について

第2号議案 2016-17年度役員について

<報告>

①2016年度事業計画および予算について

4) 理事会に関する事項

●第1回理事会

日時:5月28日(土)17:00~19:00

会場:富坂キリスト教センター1号館

議案:

1. 代表・副代表・常任役員を選任
2. 各種委員会の設置および委員選任
3. 財政基盤強化タスクについて
4. 経理規定について
5. 2016年度予算について

●第2回理事会

日時:7月16日(土)14:00~17:00

会場:富坂キリスト教センター1号館

議案:

1. 財政基盤強化について
2. 会計顧問について
3. ESDJ会員継続について
4. SDGS市民ネットワークへの参加について

●第3回理事会

日時:2016年10月22日(土)14:00~17:00

会場:富坂キリスト教センター1号館

議案:

1. 上半期事業報告・決算報告・下半期事業計画
2. 中期重点事業について
3. 組織基盤強化について
4. 聖心グローバル・プラザについて
5. 他団体におけるDEAR教材を使用した講師派遣について

●第4回理事会

日時:2017年3月4日(土)14:00~1:00

会場:富坂キリスト教センター1号館

議案:

1. 2016年度の事業報告・決算見込み
2. 2017年度事業計画・予算
3. 組織基盤強化について
4. 中期重点事業評価・計画について
5. NGO非戦ネット団体賛同について
6. 就業規則の変更について
7. 理事・常任理事について

●第5回理事会

日時:2017年4月22日(土)14:00~17:30

会場:富坂キリスト教センター1号館

議案:

1. 2016年度の事業報告・決算報告
2. 2017年度事業計画・予算
3. その他

5) 評議員会に関する事項

●第1回評議員会 & 中期重点事業中間評価会議

日時:9月22日(土)13:00~17:00

会場:富坂キリスト教センター1号館

1. 評議員会
 - 1) 活動報告
2. 組織基盤強化合同会議
 - 1) 組織基盤強化タスク現状報告
 - 2) グループディスカッション

6) 2016年度事業評価・2017年度計画会議

2016年度の事業評価と、2017年度の事業計画を共有し、議論した。

日時:2月4日(土)10:00~17:00

会場:富坂キリスト教センター1号館

議題:

- ・2016年度事業評価
- ・2017年度事業計画
- ・中期重点事業について
- ・2017年度事業について

7) 各種委員会に関する事項

本年度は、次のような各種委員会が理事会内に設置され、当会の運営や事業について協議を行った。
(注: 各種委員は個人の立場で当会の運営に参加しており、括弧内は本人の勤務先や所属先等を参考までに紹介するものです)

① DEAR大阪運営委員

委員長: 佐藤友紀(高校教員)

委員: 荒川共生((特活)ボルネオ保全トラストジャパン) / 岩崎裕保(帝塚山学院大学) / 内田弘志(株式会社拓人) / 大森容子((公財)滋賀県国際協会) / 談儀善弘(高校教員) / 浜本裕子(YMCA学院高等学校) / 榛木恵子(社会福祉法人 聖和共働福祉会) / 丸山まり子(地球市民フォーラムなら) / 松田道子((公財)神戸YMCA) / 三輪敦子(国連ウイメン日本協会大阪) / 山中信幸(川崎医療福祉大学)

8) プロジェクト・チームに関する事項

本年度は、以下のような研究会やプロジェクト・チームが設置され、各事業や活動の企画運営にあたった。
(注: 各種委員は個人の立場で当会の運営に参加しており、括弧内は本人の勤務先や所属先等を参考までに紹介するものです)

< 中期重点事業 >

● 重点事業1: 「グローバル化と開発問題」研究会の実施

木下理仁(かながわ開発教育センター)、近藤牧子(早稲田大学)、重田康博(宇都宮大学)、田中治彦(上智大学)、湯本浩之(宇都宮大学)、西あい(DEAR事業コーディネーター)

● 重点事業2: 公正な社会づくりへ参加するためのアクションの支援

阿部秀樹(会社員)、近藤牧子(早稲田大学)、鈴木洋一(WakeUpJapan)、武村佳奈(学生)、田中浩平(団体職員)、前嶋葵((特活)コモンビート)、八木亜紀子(DEAR)

● 重点事業3: 国内外の開発問題を多様な人たちと話し合う場づくりの支援

阿部眞理子((特活)IVY)、上條直美(上智大学)、佐藤友紀(高校教員)、椿原恵((特活)コミュニケーション・サポートセンター)、山西優二(早稲田大学)、西あい(DEAR事業コーディネーター)・伊藤容子・中村絵乃・(DEAR)

● 重点事業4: 教育政策に関する調査・ネットワークづくり

上條直美(上智大学)、田中治彦(上智大学)、三宅隆史(シャンティ国際ボランティア会(SVA))、本山明(大学講師)、湯本浩之(宇都宮大学)、中村絵乃・西あい(DEAR)

< 研究会・プロジェクト・チーム >

① 開発教育研究会

a) 「グローバル化と開発問題」部会

重点事業1メンバー (左欄参照)

b) 「開発教育アーカイブ」部会

田中治彦(リーダー / 上智大学)、近藤牧子(早稲田大学)、湯本浩之(宇都宮大学)

② 第34回「開発教育全国研究集会」実行委員会

栗本知子(あおぞら財団)、近藤牧子(DEAR評議員)、前田朝子(Villa Education Center 日本語活動ファシリテーター)、松尾慎(東京女子大学)、松倉紗野香(上尾市立東中学校)、本山明(法政大学教職センター)、西あい(DEAR事業コーディネーター)、中村絵乃・八木亜紀子・小口瑛子(DEAR)

③ 機関誌「開発教育」編集委員会

近藤牧子(特集担当 / 早稲田大学)、磯野昌子(かながわ開発教育センター)、小野行雄(高校教員)、上條直美(上智大学)、斎藤聖(高校教員)、奈良崎文乃(国際NGOプラン・ジャパン)、二ノ宮リムさち(東京農工大学)、野口扶美子(ロイヤルメルボルン工科大学大学院博士課程)、西あい(DEAR事業コーディネーター)、中村絵乃・小口瑛子(DEAR)

④ 「豊かさの開発」編集委員会

近藤牧子(早稲田大学)、西あい(DEAR事業コーディネーター)

⑤ アクション・ハンドブック作成チーム

重点事業2メンバー(p.15)参照

⑥ 「開発教育入門講座」チーム

大野のどか(リーダー / カフェオーナー)、定光香(会社員)、都筑慎也(会社員)、韓朱仙((特活)コモンビート)、福島智子(桜美林大学)、日野智子(会社員)、向井一郎(団体職員)、大平和希子(大学院生)、八木亜紀子・小口瑛子(DEAR)

⑦会報「DEARニュース」編集委員会

阿部秀樹(リーダー/会社員)、甲斐和歌子(NGO職員)、片山直美(会社員)、清水千絵(団体職員)、須磨珠樹(会社員)、滝本雅章(DEAR事務局ボランティア)、田中祥一(高校教員)、出口雅子(NGO職員)、菊池哲佳(団体職員)、中島智(大学教員)、松下彩(会社員)、三宅麻子(団体職員)、八木亜紀子(DEAR)

⑧組織強化基盤検討委員会

阿部真理子(IVY)、榎井縁(大阪大学)、上條直美(上智大学)、筒井哲朗(シェア・ザ・プラネット)、湯本浩之(宇都宮大学)、中村絵乃・八木亜紀子(DEAR)

9)職員に関する事項

事務局長	中村 絵乃(有給・常勤・専従)
事務局次長	西 あい (有給・常勤・専従 4月末まで)
事業主任	八木 亜紀子(有給・常勤・専従)
経理・総務担当	大久保 美智彦 (有給・非常勤・嘱託)
事業担当	星 久美子 (有給・非常勤・嘱託 4月末まで)
総務担当	横山 亜紀(有給・非常勤・嘱託)
事業担当	伊藤 容子(有給・非常勤・嘱託)
事業担当	小口 瑛子(有給・非常勤・嘱託)

10)インターン・ボランティアに関する事項

今年度に事務局で受け入れを行ったインターン・ボランティアは次の通り。

<事務局インターン>

2016年度はインターンの受け入れは行わなかった。

<事務局ボランティア>

滝本雅章(社会人、2007年11月～継続)
石田真理子(社会人、2014年4月～継続)
青沼由衣(大学院生、2015年12月～2016年10月)
渡邊 楓(大学生、2016年6月～10月)
高階悠輔(大学院生、2016年5月～継続)
三浦拓武(大学生、2016年6月～8月)
中川万由子(大学生、2016年7月～11月)
木村明日美(社会人、2016年10月～継続)
小泉晴香(大学生、2016年11月～2017年3月)

また、第34回開発教育全国研究集会には35名、教材体験フェスタには9名のボランティア参加があった。

11)会員団体に関する事項

DEARが会員として参加した団体は次の通り。

<正会員>

- ・ (特活)国際協力NGOセンター(JANIC)
- ・ 教育協力NGOネットワーク(JNNE)
- ・ (特活)持続可能な開発のための教育推進会議(ESD-J)
- ・ (一社)SDGs市民社会ネットワーク
- ・ アジア南太平洋基礎・成人教育協会(ASPBAE)

<賛助会員>

- ・ (特活)シーズ・市民活動を支える制度をつくる会

以上



今年もたくさんのボランティアと共に活動しました

資料1： 出版・編集・取材協力など

<書籍>

①『対話で育む多文化共生入門』 倉八順子著 (2016年7月)
 発行:明石書店
 内容:教材『レスカの学び』(土橋泰子作成・DEAR発行)をつかった、多文化クラスおよび自治体職員を対象としたワークショップの実践報告が掲載された。

②『SDGsと開発教育』 田中治彦・三宅隆史・湯本浩之編著 (2016年8月)
 発行:学文社
 内容:DEARのこれまでの取り組みや教材が多数紹介された。

<ウェブニュース>

『Think Dailyー地球ニュース』(2016年9月)
 発行:Think the Earth Project
 内容:DEARが企画・運営したイベント「写真で学ぼう!地球の食卓 ワークショップ&トークイベント」の様子が掲載された。

<ラジオ>

渋谷のラジオ(2016年11月)
 内容:地域密着型のラジオ放送局「渋谷のラジオ」の番組「渋谷のミライ」にスタッフの伊藤容子が出演し、開発教育とDEARの活動を紹介した。

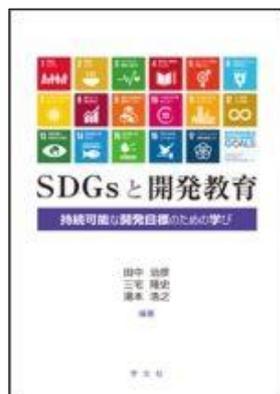
<新聞>

日本教育新聞(2016年11月28日)
 題目:「18歳選挙権と市民教育ハンドブック」ー学校現場に向け実践を例示
 内容:教材『18歳選挙権と市民教育ハンドブック』が書評欄で紹介された。

<情報誌>

『TOKYO人権』vol.73(2016年2月28日)
 発行:(公財)東京都人権啓発センター
 内容:「自由貿易にまつわる人権を学ぶ“開発教育”ー『貿易ゲーム』で世界経済の問題を疑似体験」として、事務局長の中村へのインタビューが掲載された。

以上





特定非営利活動法人
開発教育協会 (DEAR)
2160円
☎03・5844・3630

18歳選挙権と市民教育ハンドブック

学校現場に向け実践を例示

特定非営利活動法人
開発教育協会(DEAR) 編

若者が積極的に社会参加できるように知識、スキル、態度のバランスが取れた市民教育のプログラムを提案する一と、その特色を掲げてはいたが、その難題をこの薄さで書き表せるのだろうか。それが第一印象であった。

本書は、理論と実践の2部構成のA4判で、ワークシートも多く、授業デザインのイメージがつかみやすい構成になっている。平易でありながらも専門性が背景にあるため、実践編では学校現場の喫緊の課題となっているテーマを巧みに可視化している。即、授業に活用できるハンドブックである。例示だけ見ても、ほとんどの教師が「自分でもやれそうだ。面白い」と感じらるだろう。私なら自校の実態に合わせて職員研修で実施し、まずは職員のスキルを高めたいと思う。それは、学校現場の戸惑いを何とか払拭したいとの著者たちの思いが伝わってくるからである。

さて、選挙公報をウェブからダウンロードして生徒に印刷配布することや、授業内で18歳未満の生徒が政党ごとに分かれて各政党の政策を主張することなどが公選法の違反行為に抵触する恐れがあると指摘している。本当か。それなら何もできないと思うところには、本書は「これならはできる」という具体例を借しげもなく18例も示している。読後は、必ずや行動を促す勇気が湧いてくるだろう。

(大久保 俊輝・文教大学非常勤講師)

資料 2: 「名義後援・協力」の実績一覧 (計 12 件)

<後援名義>

- ①立正佼成会青年本部
「第 47 回 青年の日」(2016 年 5 月 15 日)
- ②独立行政法人国際協力機構
「JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト
2016」(2016 年 9 月～2 月)
- ③(公財)滋賀県国際協会
「平成 28 年度 国際教育教材体験フェア」
(2016 年 6 月 19 日)
- ④(公財)日本クリスチャン・アカデミー 関西セミ
ナーハウス活動センター
「2016 年度 開発教育セミナー」
(2016 年 6 月～12 月)
- ⑤(公財)武蔵野市国際交流協会
「夏期教員ワークショップ 2016」
(2016 年 7 月 26 日・27 日)
- ⑥全国学校ESD実践研究会
「全国学校ESD実践研究会 設立記念フォーラム」
(2016 年 8 月 8 日)
- ⑦(公財)滋賀県国際協会
「平成 28 年度 国際教育ワークショップ」
(2017 年 1 月 28 日)

- ⑧特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協
会
「社会貢献教育オープンシンポジウム 2017」
(2017 年 3 月 18 日)

<協力名義>

- ⑨特定非営利活動法人ヒューマンライツ・ナウ
「第 2 回全国中高生「世界子どもの日」映像スピー
チコンテスト」(2016 年 7 月～11 月)
- ⑩一般財団法人地球・人間環境フォーラム
「国際セミナー 熱帯林とプランテーション:持続可
能な森林利用に向けて」(2016 年 9 月 29 日)
- ⑪宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏セン
ター
「第 8 回グローバル教育セミナー～難民問題とグ
ローバル教育」(2016 年 11 月 9 日)
- ⑫特定非営利活動法人メコン・ウォッチ
「見る・伝える:カンボジアの人々の苦悩と希望 人
権状況の今と女性たちの闘い」
(2016 年 12 月 16 日)

以上

資料 3: 他団体への「賛同」の実績一覧 (計 2 件)

①NGO非戦ネット

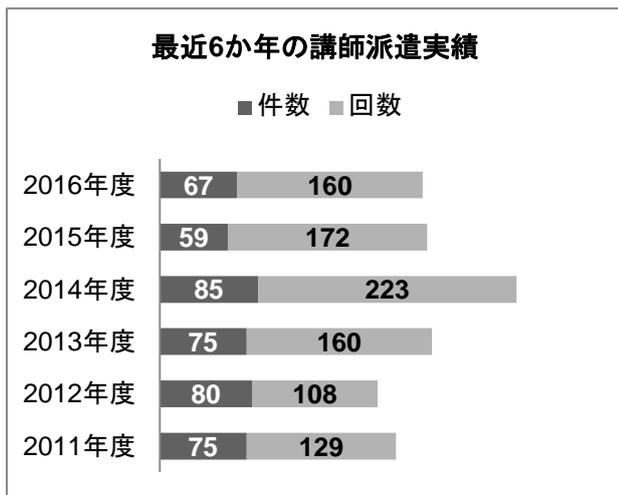
目的:国際協力・交流活動に取り組むNGOや市民
の立場から、武力で平和は作れないという信念の
もと、NGOだからこそ発信できる声を市民に届け、
市民が広く結集するネットワークをめざす。
期間:2015 年 7 月 2 日～

②「世界食料デー」月間 2016 みんなで食べ る幸せを

飢餓や食料問題に取り組む国際機関や
NGO/NPO、企業や教育機関などが、世界食料
デーに向けて実施する企画を相互に協力・広報を
行うことで、1 人でも多くの人に飢餓や食料問題に
ついて知ってもらい、また解決に向けて何ができ
るのか考え、行動する機会を提供する。
期間:2016 年 10 月 1 日～31 日

以上

資料 4:「講師派遣」の実績一覧 (計 67 件 160 回)



1 新入生オリエンテーション (2016.4.5/計 3 回)

主催: 流通経済大学

内容: 貿易ゲーム・コンビニ

対象: 大学 1 年生

派遣者: 中村絵乃(事務局長)、西あい(事務局次長)、八木亜紀子(事業主任)

2 新入生オリエンテーション (2016.4.6/計 8 回)

主催: 流通経済大学

内容: 貿易ゲーム・コンビニ

対象: 大学 1 年生

派遣者: 中村絵乃(事務局長)、西あい(事務局次長)、八木亜紀子(事業主任)、近藤牧子(評議員)、伊藤容子(事務局員)

3 グローバル・イシュー (2016.4.13)

主催: 桜丘高等学校

内容: 地球の食卓

対象: 高校 1 年生クリエイティブ・リーダースクラス

派遣者: 八木亜紀子(事業主任)

4 国際教育ゼミ (2016.4.27)

主催: 上智大学短期大学部

内容: パーム油

対象: 短大 2 年生

派遣者: 西あい(事務局次長)、伊藤容子(事務局員)

5 グローバルシティズンシップ教育研修

(2016.4.28、9.30、12.9/計 3 回)

主催: 上尾東中学校

内容: グローバルシティズンシップ教員研修

対象: 教員

派遣者: 中村絵乃(事務局長)

6 国際教育の学習 (2016.5.7)

主催: 横浜市立平楽中学校

内容: グローバルエクスプレス

対象: 中学 2 年生

派遣者: 井手将夫(GE タスク)

7 サービスラーニング入門 (2016.5.9)

主催: 立教女学院短期大学

内容: パーム油

対象: 現代コミュニケーション学科 1 年生

派遣者: 八木亜紀子(事業主任)

8 国際理解教育 (2016.5.12)

主催: 豊中市立第十六中学校

内容: 100 人村

対象: 中学 1 年生

派遣者: 山中信幸(DEAR 大阪運営委員)

9 平成 28 年度グローバル・リーダー養成ワークショップ (2016.5.19)

主催: 群馬県立高崎女子高等学校

内容: 100 人村

対象: 高校生

派遣者: 八木亜紀子(事業主任)

10 ラオス国際協力研修 (2016.5.24)

主催: 学習院女子大学

内容: 若者と学ぶ ESD

対象: 在学生でラオス国際協力研修参加者

派遣者: 近藤牧子(評議員)

11 国際理解教育 (2016.5.28)

主催: (財)大阪国際交流センター

内容: 100 人村

対象: 大学生

派遣者: 佐藤友紀(理事)

12 フィールドワーク国際セミナー

(2016.6.11/計 4 回)

主催: 鎌倉女学院

内容: パーム油、コーヒー

対象: 高校 1 年生

派遣者: 星久美子(ボランティア)、伊藤容子(事務局員)、小口瑛子(事務局員)

**13 ふくしまグローバル人材育成指導者セミナー
(2016.6.25)**

主催:公益財団法人福島県国際交流協会

内容:世界一大きな授業

対象:教員・一般

派遣者:八木亜紀子(事業主任)

**14 H28 年度消費者教育推進のための研修
(2016.6.30)**

主催:独立行政法人国民生活センター

内容:パーム油

対象:消費者教育に携わる講師養成講座 教員

派遣者:八木亜紀子(事業主任)

**15 選挙権と市民教育に関する理解の促進(日中
知的交流支援事業)(2016.7.6)**

主催:国際交流サービス協会

内容:18歳選挙権と市民教育

対象:中国の専門家、東京大学大学院生

派遣者:近藤牧子(評議員)

16 地域国際化推進(2016.7.9)

主催:一般財団法人 自治体国際化協会

内容:多文化共生社会構築の実践例を学び、具体的活動につなげていく

対象:日本語ボランティア

派遣者:中村絵乃(事務局長)

17 国際理解教育出張授業(2016.7.11)

主催:千代田女学園中学校

内容:100人村

対象:中学2年生

派遣者:八木亜紀子(事業主任)

18 海外派遣学生への事前学習(2016.7.12)

主催:大阪国際大学

内容:ちがいのちがいの、バーンガ 等

対象:海外派遣生

派遣者:佐藤友紀(理事)

19 国際協力コース概論(2016.7.12)

主催:文京学院大学

内容:パーム油

対象:大学2年生~4年生

派遣者:伊藤容子(事務局長)

20 教員研修(2016.7.15)

主催:横浜女学院高校

内容:アクティブラーニング研修

対象:大学生

派遣者:上條直美(代表理事)

21 教育教材学習会(2016.7.23~24/計2回)

主催:非特定営利活動法人 AMDA 社会開発機構

内容:援助する前に考えよう

対象:教職員、公民館職員、NPO 職員、学生ボランティア

派遣者:山中信幸(DEAR 大阪運営委員)

**22 すぐに役立つ!教員のための消費者教育講座
(2016.7.25、8.3/計2回)**

主催:東京都消費生活総合センター

内容:パーム油

対象:教員

派遣者:中村絵乃(事務局長)、八木亜紀子(事業主任)

23 中央ろうきん夏休み親子企画(2016.7.31)

主催:つくば市民大学

内容:100人村

対象:親子

派遣者:八木亜紀子(事業主任)

24 国際教育セミナー(2016.8.4)

主催:JICA 関西

内容:開発教育入門

対象:教員

派遣者:佐藤友紀(理事)

**25 国際理解教育/開発教育実践者向け研修
(2016.8月~12月/計3回)**

主催:独立行政法人 JICA 地球ひろば

内容:開発教育・参加型学習

対象:教師海外研修参加教員

派遣者:中村絵乃(事務局長)

**26 すぐに役立つ中学校家庭分野授業づくり
(2016.8.17)**

主催:山梨県総合教育センター

内容:パーム油

対象:教員(家庭科)(小・中・高・特支)

派遣者:八木亜紀子(事業主任)

27 国際理解教育部会教職員研修(2016.8.18)

主催:千葉県教育研究集会東総支部国際理解部会

内容:パーム油

対象:教員

派遣者:八木亜紀子(事業主任)

28 地域国際化推進アドバイザー派遣事業
(2016.8.20)

主催:公益財団法人新潟県国際交流協会

内容:国際理解ファシリテーター養成

対象:大学生及び関係者

派遣者:中村絵乃(事務局長)

29 H28 年度消費者教育推進のための研修
(2016.8.23)

主催:独立行政法人国民生活センター

内容:パーム油

対象:消費者教育に携わる講師養成講座 教員

派遣者:伊藤容子(事務局長)

30 消費生活サポーターフォローアップ研修会
(2016.8月~10月/計4回)

主催:宮城県環境生活部消費生活・文化部

内容:パーム油などの消費生活に関する問題等

対象:県内消費生活サポーター

派遣者:八木亜紀子(事業主任)、阿部真理子

(理事)、清水千絵(ボランティア)、伊藤容子(事務局長)

31 2016 年度消費者教育学生セミナー (2016.9.1)

主催:独立行政法人 国民生活センター

内容:パーム油

対象:大学生

派遣者:西あい(事業コーディネーター)、伊藤容子(事務局長)

32 千葉教育研究会 市川支会 国際理解部会
(2016.9.14)

主催:千教研市川支会 国際理解研究部会

内容:パーム油

対象:小・中学校の教員・校長・教頭

派遣者:伊藤容子(事務局長)

33 DEAR ワークショップ
(2016.9月~2017.1月/計6回)

主催:フリースペースえん

内容:オリンピック、人権、多文化共生、憲法

対象:えんの子ども・大人

派遣者:中村絵乃(事務局長)、星久美子(ボランティア)

34 親子体験学習会 (2016.9.24/計2回)

主催:東京都私立初等学校

内容:100人村

対象:東京都の小5・6年生とその保護者

派遣者:中村絵乃(事務局長)、八木亜紀子(事業主任)、伊藤容子(事務局長)

35 グローバルフェスタ JAPAN2016 (2016.10.2)

主催:外務省国際協力局

内容:持続可能な開発目標(SDGs)パネルトーク

対象:一般

派遣者:中村絵乃(事務局長)

36 職責者研修 (2016.10.27、1.26/計2回)

主催:神奈川県民医連

内容:問題解決のファシリテーション

対象:職責者(主任・係長・課長)

派遣者:中村絵乃(事務局長)、西あい(事業コーディネーター)、伊藤容子(事務局長)

37 市民的能力のための社会スタディ (2016.10.27)

主催:山梨県立男女共同参画推進センター

内容:子どもの貧困

対象:一般

派遣者:鈴木隆弘(ボランティア)

38 人権啓発講習会 (2016.10.29)

主催:大阪市立天王寺中学校 PTA 人権啓発委員会

内容:フェアトレード関連の講演

対象:PTA 会員

派遣者:佐藤友紀(理事)

39 東南アジア青年の船 (2016.10.31)

主催:青少年国際交流推進センター

内容:貿易ゲーム

対象:ASEAN 青年の船参加者

派遣者:中村絵乃(事務局長)、伊藤容子(事務局長)、小口瑛子(事務局長)

40 第935回 youth conference Step4
ワールドミーティング (2016.11.6)

主催:公益財団法人立川青年会議所

内容:100人村

対象:中学生、一般、外国人留学生ほか

派遣者:中村絵乃(事務局長)

41 環境学習リーダー養成講座 (2016.11.12)

主催:神奈川県環境科学センター環境活動推進課

内容:環境学習の実践に向けてのWSの手法

対象:一般

派遣者:中村絵乃(事務局長)、伊藤容子(事務局長)

- 42 消費者カアップ講座 (2016.11.19)
 主催:公益財団法人消費者教育支援センター
 内容:地球の食卓
 対象:神奈川県在住・在勤の一般消費者
 派遣者:伊藤容子(事務局員)
- 43 チャレンジクッキングだいちのめぐみをたべよう (2016.11.19)
 主催:NPO 法人とよなか ESD ネットワーク
 内容:献立作りゲームと栄養バランスについての解説
 対象:小学生 4 年生～中学生
 派遣者:佐藤友紀(理事)
- 44 中 2 グローバルラボ (2016.11.26/計 2 回)
 主催:甲南中学校
 内容:100 人村
 対象:中学 2 年生
 派遣者:佐藤友紀(理事)
- 45 GEOC 創立 20 周年特別企画: 座談会リレートーク (2016.12.12)
 主催:地球環境パートナーシッププラザ
 内容:座談会
 対象:内部スタッフ、関係者
 派遣者:上條直美(代表理事)
- 46 エッセイコンテスト審査 (2016.12.12)
 主催:JICA 地球ひろば
 内容:審査
 対象:中・高生
 派遣者:中村絵乃(事務局長)
- 47 留学前研修 (2016.12.15/計 2 回)
 主催:大阪国際大学
 内容:異文化理解、バーンガ
 対象:大学生
 派遣者:佐藤友紀(理事)
- 48 高校生世代向け国際理解入門講座 (2016.12.18)
 主催:JICA 横浜
 内容:豊かさの開発
 対象:高校生
 派遣者:西あい(事業コーディネーター)、近藤牧子(評議員)
- 49 高校生実体験セミナー スマホの真実 (2016.12.18)
 主催:JICA 関西
 内容:スマホの真実
 対象:高校生
 派遣者:佐藤友紀(理事)
- 50 生き生き活性化事業 職員研修会 (2016.12.26)
 主催:沖縄県立球陽高等学校
 内容:地球の食卓・アクティブラーニング
 対象:教員
 派遣者:八木亜紀子(事業主任)
- 51 教職課程「教育方法」での参加型学習体験 (2016.1.23)
 主催:高千穂大学(人間科学部)
 内容:パーム油
 対象:教職課程学生
 派遣者:伊藤容子(事務局員)
- 52 国際理解教育(総合的な学習の時間) (2016.1.27/計 4 回)
 主催:千代田区立九段中等教育学校
 内容:コーヒーカップの向こう側
 対象:中学 3 年生
 派遣者:中村絵乃(事務局長)、八木亜紀子(事業主任)、伊藤容子(事務局員)、近藤牧子(評議員)
- 53 中 2 グローバルラボ (2016.1.27/計 2 回)
 主催:甲南中学校
 内容:貿易ゲーム
 対象:中学生
 派遣者:佐藤友紀(理事)
- 54 ファシリテーターの理論と実践 (2016.2.7~2.9/計 15 回)
 主催:フェリス学院大学
 内容:ファシリテーション
 対象:大学生
 派遣者:中村絵乃(事務局長)
- 55 国際理解教育 (2016.2.10、3.6/計 2 回)
 主催:渋谷区立鉢山中学校
 内容:100 人村
 対象:中学 1 年～2 年生
 派遣者:伊藤容子(事務局員)

56 国際理解教育(総合的な学習の時間)

(2016.2.10、3.10/計2回)

主催:千代田区立九段中等教育学校

内容:授業実践へのコメント

対象:教員

派遣者:八木亜紀子(事業主任)、近藤牧子(評議員)、
中村絵乃(事務局長)

57 FD 研修会 (2016.2.10)

主催:倉敷芸術科学大学

内容:アクティブラーニング研修

対象:教員

派遣者:中村絵乃(事務局長)

**58 H28 オリンピック・パラリンピック教育推進
支援事業 (2016.2.15)**

主催:板橋区立蓮根第2小学校

内容:100人村

対象:小学6年生

派遣者:八木亜紀子(事業主任)

59 総合的な学習、キャリア教育 (2016.2.16)

主催:渋谷区立長谷戸(ながやと)小学校

内容:100人村

対象:小学校高学年

派遣者:中村絵乃(事務局長)

60 エコサポーターフォローアップ講座

(2016.2.18、2.25/計2回)

主催:江東区環境学習情報館えこつくる

内容:地球の食卓

対象:スタッフ(エコサポーター)

派遣者:八木亜紀子(事業主任)、小口瑛子(事務局長)

61 国際理解プログラム (2016.2.23)

主催:川崎市立橋高等学校国際科

内容:メディアリテラシー

対象:国際科3学年

派遣者:近藤牧子(評議員)、小口瑛子(事務局長)

62 世界の多様性の理解と世界の格差の体験

(2016.3.3)

主催:日野市立日野第七小学校

内容:100人村

対象:小学校4年生

派遣者:中村絵乃(事務局長)

63 日本総会記念「アムネスティ・フェスタ」

ユース講演 (2016.3.11)

主催:アムネスティ・インターナショナル日本

内容:ファシリテーションの技術

対象:アムネスティ日本会員、ユースメンバー

派遣者:中村絵乃(事務局長)

**64 ESD セミナー「自分で作っておいしい子ども
クッキング」(2016.3.26)**

主催:豊中市立 eMIRAIE 環境交流センター

内容:食べ物について

対象:小学生、親、大学生

派遣者:佐藤友紀(理事)

65 ファシリテーション研修 (2016.3.30)

主催:長浜バイオ大学

内容:ファシリテーション

対象:大学生

派遣者:中村絵乃(事務局長)

66 教育課程研究 (2016.4~9/計30回)

主催:横浜市立大学

内容:開発教育・参加型学習について

対象:大学生

派遣者:中村絵乃(事務局長)

67 ファシリテーターの理論と実践

(2016.4~3/計15回)

主催:フェリス女学院大学

内容:ファシリテーションについて

対象:大学生

派遣者:中村絵乃(事務局長)

以上



講師派遣の様子はスタッフ・ブログ「DEAR な日々」でレポートしています。 <http://dearstaff.blogspot.jp/>